

つなげようつながろう
新たな50年へ

社会福祉法人所沢市社会福祉協議会
法人化 50周年記念誌

The 50th
Anniversary

目次

50th anniversary



ご挨拶

社会福祉法人所沢市社会福祉協議会 会長 本橋 栄三	2
---------------------------------	---

祝 辞

所沢市長 藤本 正人	3
所沢市議会 議長 杉田 忠彦	4
社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 会長 上田 清司	5
所沢市自治連合会 会長 安田 敏男	6
所沢市民生委員・児童委員連合会 会長 橋爪 猛	7

50年のあゆみ	8
---------------	---

法人化 50 周年記念式典	13
---------------------	----

歴代役員名簿（歴代正副会長、監事、常務理事）	17
------------------------------	----

現在の評議員・役員名簿	19
-------------------	----

現在の組織図	20
--------------	----

事業紹介

地域福祉推進の主な取り組み	21
所沢市社会福祉協議会の主な事業	23

社協職員として大切にしたいことを漢字一文字で	28
------------------------------	----



ご挨拶

法人化 50 周年を迎えて

社会福祉法人所沢市社会福祉協議会
会長

本橋 栄三

社会福祉法人所沢市社会福祉協議会は、昭和 27 年に設立され、昭和 43 年 3 月 27 日に社会福祉法人として認可を受け、おかげさまで平成 30 年 3 月 27 日に法人化 50 周年を迎えることができました。本会が地域福祉を推進する中心的団体として今日まで充実、発展してこられたのも、所沢市をはじめ、住民の皆様方、関係機関・団体の皆様方の深いご理解とご支援の賜物と心から感謝と御礼を申し上げます。

顧みますと、本会は、設立当初、旧所沢市役所の中において産声をあげました。そして、法人化をし、50 年の歳月を経て、今日では、「所沢市子どもと福祉の未来館」に主たる事務所を移転し、多様な社会福祉事業を推進させていただいております。平成 28 年度からはコミュニティソーシャルワーカーの配置を開始し、地域福祉を推進する基盤を整えつつあります。

この変遷においては、所沢市や関係機関・団体の皆様との絶え間ない連携と協働があり、それなくしては、今の本会はないものと思っております。特にこの 50 年は、ボランティアの方々や住民の皆様とともに、知恵を出し合い、汗を流しながら、誰もが安心して暮らせるまちをめざして、地域福祉をいっしょに進めてきた歴史でもあります。

この 50 周年の節目にあたり未来を見つめた時、あらためて地域福祉の原点に立ち返り、皆で気づき合い、学び合い、考え合い、力を出し合いながら、所沢の福祉をより豊かにしていきたいと、あらためて思いを強くする次第でございます。住民誰もがその人らしく、この所沢で安心して暮らせるまちづくりを、所沢市をはじめ、住民、関係機関・団体の皆様とともに進められるよう、さらなる努力を続けてまいります。どうぞ、皆様方におかれましては、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



所沢市社会福祉協議会 法人化 50 周年 祝 辞

所沢市長
藤本 正人

社会福祉法人所沢市社会福祉協議会が法人化 50 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

昭和 27 年に任意団体として発足した所沢市社会福祉協議会は、昭和 43 年 3 月に社会福祉法人として認可を受け、以来半世紀にわたって所沢市と共に市内の福祉推進のため、着実に歴史を積み重ねてこられました。歴代の会長をはじめ、発足から現在に至るまで携わってこられた役員・職員の皆様方の御尽力に対して、改めて敬意を表し深く感謝申し上げる次第です。

さて、所沢市社会福祉協議会は平成 27 年より、第 4 次地域福祉活動計画 in 所沢「ところ WITH プラン」を策定され、所沢市の第 2 次地域福祉計画と連携しながら、地域福祉という幅広い分野において様々な活動を展開されています。平成 29 年 1 月からは「所沢市こどもと福祉の未来館」が開館し、所沢市と所沢市社会福祉協議会が事務室を隣り合わせにして、より密接に活動を進めていただいております。本施設を地域福祉の拠点として、また法人化 50 周年を一つの契機として、地域福祉の第一線としての更なる御活躍を御期待申し上げます。

私といたしましても、「動け! 所沢 紡ごう! 絆」を合言葉に、大震災のときに誰もが感じたあの思いを決して忘れず、「人と人のあり方」「人と自然のあり方、関係性」をもう一度紡ぎ直していこう!! そして、「思うより、批評をするより、自ら動く実践者となろう!!」「実践者を大切に作る所沢、日本でいこう!!」の信念で 2,100 有余の市職員とともに新たな日本における市民の幸せのため、力を尽くしているところであります。地域の絆を紡ぐため、引き続き、所沢市とも御協力いただきながら、ともに歩んでいただきたく存じます。

結びに、所沢市社会福祉協議会のより一層の御活躍と、ますますの御発展、そして皆様の御健勝をお祈りいたしまして、お祝いのことばといたします。



所沢市社会福祉協議会 法人化 50 周年 祝 辞

所沢市議会
議長

杉田 忠彦

社会福祉法人所沢市社会福祉協議会が、法人化 50 周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

所沢市社会福祉協議会におかれましては、地域福祉の推進を図ることを目的に、昭和 27 年に設立され、昭和 43 年の法人化以来今日に至るまで、一貫して「福祉のまちづくり」の中心的な役割を果たしてこられました。

今日までの長きにわたり、地域に密着した活動を続けてこられた歴代会長様、会員の皆様をはじめとする関係各位のご尽力に対しまして、心から敬意を表する次第です。

現代社会は、人間関係が希薄であると言われておりますが、こうした背景には、価値観の多様化やメディアの発達などがその要因ではないかと考えられております。また、わが国は世界一の長寿国となり、また少子化等により社会状況が変化する中、ともすると先行きの見通しに対して危惧の念を持たざるを得ません。こうした時代であるからこそ、地域の助け合いが必要であると考えております。

地域住民が抱える生活課題を地域全体の課題としてとらえ、誰もが安心して暮らせるように、住民、行政、社会福祉関係者、ボランティア、NPO、企業などがお互いに協力して取り組んでいくという「地域福祉」の考え方に基づき、その向上に向けた四つの助け、特に「共助」の部分の中心的役割を担い、活動を続けてこられた皆様への期待は、今後さらに高まるものと思えます。

法人化以来、50 年という大きな節目を迎えられた所沢市社会福祉協議会が、これを機会に、さらに一層住民福祉の拠点として、その真価を遺憾なく発揮され、100 年への新たな飛躍となりますよう心からご期待申し上げます。

結びに、所沢市社会福祉協議会のますますのご発展と、関係する皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



所沢市社会福祉協議会 法人化 50 周年を祝して

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会
会長

上田 清司

所沢市社会福祉協議会の法人化 50 周年を心からお祝い申し上げます。

本橋栄三会長をはじめ歴代の役員、関係の皆様のご御尽力により、貴会が法人化 50 周年という節目を迎えられましたことを大変うれしく思います。

また、貴会が長年にわたり、地域福祉の担い手として行政や関係機関と連携し、市民の参加と協力による福祉のまちづくりに積極的に取り組んでこられたことに、深く敬意を表します。

さて、世界一の高齢社会となった我が国では、今や「人生百年時代」も夢ではありません。それに伴い、長くなった高齢期をどのように生きるかが大きな課題となってきました。六十歳で定年を迎える一回目のライフステージの後に、仕事や趣味、地域活動などで新たなライフステージを作る「人生二毛作」の時代がやってきます。それはまさしく誰もが活躍できる社会であり、実現のためには社会全体で活躍の機会や場を創出していくことが重要です。

例えば、貴会が取り組まれている地域福祉サポーターの養成では、これまでに 159 名の方がサポーターとして登録され、御活躍いただいていると伺っております。こうした人づくりの活動は、正に、意欲のある人が活躍するきっかけづくりだと思います。

また、市民がサロン等の活動を始める際には、貴会が配置しているコミュニティソーシャルワーカーが支援を行い、市民が活躍できる場づくりにも積極的に取り組んでおられます。

市民と貴会が一体となったこれらの活動によって、共助の精神が地域に広がり、障害のある人もない人も、子供も高齢者も全ての人が共に分かち合い、支え合うことのできる社会が実現されることを強く願っております。

埼玉県社会福祉協議会といたしましても、「つながりをチカラに」をキャッチフレーズとして、誰もが生きる喜びを感じられる社会の実現に引き続き取り組んでまいりますので、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、所沢市社会福祉協議会の限りない御発展と、関係各位のますますの御健勝、御活躍を祈念いたしまして私からのお祝いの言葉とさせていただきます。



地域福祉こそ… 『テーマはにんげん』

所沢市自治連合会
会長

安田 敏男

究極の国家犯罪である戦争がなかった「平成」時代も30年を迎えられた現在ですが、政府は米国と共に北朝鮮に圧力を掛けつづける危ない安保政策と、経済優先や規制緩和に傾注し企業優遇政策をすすめる。一方、多くの国民は情報過多時代による「詐欺被害」社会、少子高齢化による「思いやり減少・孤立化」社会、そして「福祉後退」社会に、正直な話し、少なからず悩んでいる「にんげん」が多いのが現状であります。

そうした中、社会みんなで福祉を支えていこうという精神から創立された社会福祉協議会の存在も「重要局面」に差し掛かっていると思います。

本来なら行政が直接しなくてはならない福祉施策を受託しているため組織は大きくなりましたが、本来の目的である市民ニーズを見極めサポートするキメ細かい福祉活動実践のためにも、自治会・町内会と連帯しながら、ネットワーク会議やコミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置などで、地域福祉の目的である「支え合い・助け合い」運動展開はこれからの重要局面になっています。

こうした方向性は、私が長年にわたり提言し続けてきている、まさに『テーマはにんげん』であり、社協の重要テーマであると確信しますので、自治会・町内会に負担を掛け過ぎないように丁寧に依頼し連携していきましょう。

きっと、自治会長さんや役員は高尚なる「究極のボランティア精神」で応えていこうと考えてくれるでしょうから、法人化50周年を機にさらに中身の濃い充実した社会福祉活動となるよう頑張りましょう。

今後の前進に大いに期待しております。



所沢市社会福祉協議会 法人化 50 周年

所沢市民生委員・児童委員連合会
会長

橋爪 猛

所沢市社会福祉協議会法人化 50 周年おめでとうございます。

今、私たちの住む所沢を見ても、全国的に見ても、少子高齢化による単身高齢者世帯の増加、障害者の親の高齢化、近隣住民のつながりの無さが問題となってきています。

近所付き合いの煩わしさが嫌で、一戸建て住宅から団地やマンションに引っ越す方も多いと聞いています。健康な時はそれでも良いかもしれませんが、家族が減り自分一人になって、しかも病気がちになればとても心細いのではないのでしょうか。

さて、所沢市こどもと福祉の未来館ができ、「福祉の相談窓口」も開業して、様々な相談に応じてくれるようになりました。また、待っているだけではなく、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が地域にも出ていき、地域の課題にも取り組んでくれる様にもなりました。社協も進化しています。

私たち民生委員・児童委員は地域に住み、アンテナを立てて地域の課題の発見に努めています。

よく、社協と民生委員・児童委員は車の両輪のごとく一緒に進み、取り組むのが理想だと言われます、まったくその通りだと思います。

これからも、私たちの住む所沢をもっと良くする、住みやすい街にするためにもお互いに協力し、行政も一緒になって進んでいきたいと願っております。どうかよろしく願いいたします。

所沢市社会福祉協議会 50年のあゆみ



所沢市こどもと福祉の未来館

I 創成期（設立～昭和50年頃）

組織化から16年後に法人化しました。支部組織や会員募集が始まった他、市の補助事業として「かしの木学園」「きぼうの園」を運営開始しました。

年	主な動き
昭和27年	所沢市社会福祉協議会組織化
昭和30年	世帯更生資金貸付制度の発足（現 生活福祉資金貸付制度）
昭和37年	結婚相談事業開始（市補助事業）
昭和42年	法人設立準備委員会設置 心配ごと相談事業開始（民生委員活動と連携）
昭和43年	昭和43年3月27日社会福祉法人として認可（当時の厚生大臣 園田 直 氏） 事務局に福祉活動専門員1名配置
昭和48年	社会福祉協議会「支部組織」づくり開始 社会福祉協議会「会員」募集開始
昭和49年	心身障害児母子通園施設「かしの木学園」、心身障害者通所授産施設「きぼうの園」を市補助事業として開始



所沢市役所旧庁舎



II

成長期（昭和50年頃～）

所沢市内各地でボランティアの養成を開始し、ボランティアセンターを開設しました。住民参加型家事援助サービスを開始する等、住民同士のつながりづくりと住民主体のまちづくりを推進しました。

年	主な動き
昭和50年	県社会福祉協議会の協力を得て福祉ボランティア研修会をはじめ開催
昭和53年	県共同募金会の事務局が市から移管（埼玉県共同募金会所沢市支会事務局）
昭和54年	ボランティア養成研修会（講座）開催
昭和55年	所沢市ボランティアセンター開設（旧消防署建物）
昭和58年	所沢市愛の福祉基金設置（市補助金によりスタート）
昭和60年	厚生省ボランティア事業の指定（60年度～61年度）
昭和61年	心身障害児母子通園施設「かしの木学園」、心身障害者通所授産施設「きぼうの園」の施設竣工、市条例制定、補助事業から市委託事業に変更 住民参加型愛の在宅福祉「家事援助サービス」事業開始
昭和62年	事務所移転（旧市役所1階に移る）

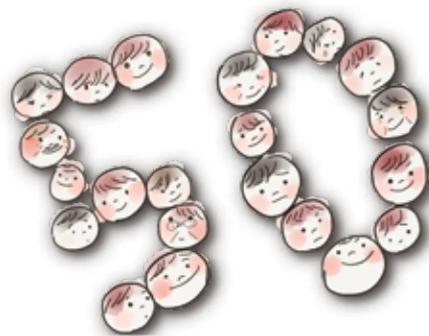


III

発展期（平成元年～）

福祉サービスの拡充を背景に、市の事業を多く受託し始めた時期です。その一方、第1次地域福祉活動計画を策定しました。また、市の補助事業として見守り配食サービスを地域の多数のボランティアの協力のもと展開しました。

年	主な動き
平成4年	手話通訳派遣事業を市から受託、派遣開始、講習会開講 ホームヘルプサービス事業を市から受託、派遣開始
平成5年	住民参加型ふれあい配食サービス事業開始
平成7年	社会福祉協力校「ボランティア推進校」指定 重度障害者ガイドヘルパー派遣事業開始
平成9年	障害者デイケア施設「所沢市立こあふる」開所（市受託） 第1次地域福祉活動計画策定
平成10年	障害者就労支援事業を市から受託



Ⅳ 拡充期（平成12年～）

介護保険制度がスタートし、措置から契約の時代へと変遷した社会福祉の歴史的転換期を背景に、福祉サービス利用援助事業を開始するとともに、介護保険事業をスタートしました。その他、この時期も市の事業を数多く受託しました。また、災害ボランティアセンターの基盤を整備したのもこの頃です。

年	主な動き
平成12年	福祉サービス利用援助事業開始 指定居宅介護事業等の介護保険事業開始 所沢市ファミリー・サポート・センター事業を所沢市から委託
平成14年	「所沢市立プロペラ」開所（市委託）
平成19年	第2次地域福祉活動計画策定
平成20年	障害者相談支援事業開始（市委託）
平成22年	災害ボランティアセンター訓練開始
平成24年	第3次地域福祉活動計画策定 災害ボランティア育成開始



Ⅴ 転換期（平成26年～）

社会の変化を反映し、目まぐるしく動く国や行政の政策に対応した時期です。コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置するなど、さらなる地域福祉推進の基盤整備を図り、各種取り組みを進めています。

年	主な動き
平成26年	法人後見事業開始 生活困窮者自立相談モデル事業開始（市委託）
平成27年	第4次地域福祉活動計画策定 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）のモデル配置
平成28年	全行政区にコミュニティソーシャルワーカーを配置 改正社会福祉法への対応
平成29年	所沢市子どもと福祉の未来館へ移転 介護保険事業等の事業所設置



法人化前

年	主な動き
昭和 26 年	社会福祉事業法制定、全国・都道府県に社会福祉協議会が設立、以後、市区町村社会福祉協議会が順次組織化
昭和 27 年	所沢市社会福祉協議会組織化
昭和 30 年	世帯更生資金貸付制度の発足（現 生活福祉資金貸付制度）
昭和 37 年	結婚相談事業開始（市補助事業）
昭和 42 年	法人設立準備委員会設置
	心配ごと相談事業開始（民生委員活動と連携）

法人化後

年	主な動き
昭和 43 年	昭和 43 年 3 月 27 日社会福祉法人として認可（当時の厚生大臣 園田直氏）
	法人として理事会、監事会、評議員会設置
	事務局に福祉活動専門員 1 名配置
昭和 48 年	社会福祉協議会「支部組織」づくり開始
	社会福祉協議会「会員」募集開始
昭和 49 年	敬老会行事を行政（支部社協による実行委員会方式）ごとに開催
	心身障害児母子通園施設「かしの木学園」、心身障害者通所授産施設「きぼうの園」を市補助事業として開始
昭和 50 年	県社会福祉協議会の協力を得て福祉ボランティア研修会をはじめ開催
	ボランティアの集い定例化（毎月 1 回）
昭和 51 年	所沢市善意銀行開設（現在のボランティアセンターの前身）
	福祉ボランティアグループ発足（所沢ボランティアグループ）
	視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業開始
昭和 52 年	第 1 回所沢市社会福祉大会開催（以後毎年開催）
昭和 53 年	県共同募金会の事務局が市から移管（埼玉県共同募金会所沢市支会事務局）
昭和 54 年	ボランティア養成研修会（講座）開催
昭和 55 年	所沢市ボランティアセンター開設（旧消防署建物）
	第 1 回市民フェスティバル参加（後の福祉コーナー）
昭和 58 年	所沢市愛の福祉基金設置（市補助金によりスタート）
	寝たきり老人介護者援助事業開始
昭和 60 年	厚生省ボランティア事業の指定（昭和 60 年度～昭和 61 年度）
	入院老人見舞金事業開始
昭和 61 年	心身障害児母子通園施設「かしの木学園」、心身障害者通所授産施設「きぼうの園」の施設竣工、市条例制定、補助事業から市委託事業に変更
	住民参加型愛の在宅福祉「家事援助サービス」事業開始

年	主な動き
昭和 61 年	ボランティア活動等地域福祉活動育成援助事業開始
	民間福祉施設臨時費助成事業開始
	福祉団体事務局が市から全面移管（8 団体）
昭和 62 年	事務所移転（所沢市役所旧庁舎 1 階に移る）
	売店等収益事業開始届出
平成 元 年	社会福祉協力校指定事業開始（県社会福祉協議会と連携）
平成 2 年	福祉バス「ふれ愛号」運行（市バス貸与）
平成 4 年	手話通訳派遣事業を市から受託、派遣開始、講習会開講
	ホームヘルプサービス事業を市から受託、派遣開始
	在宅介護者リフレッシュ事業開始（4 市共同）
平成 5 年	住民参加型ふれあい配食サービス事業開始
平成 6 年	ホームヘルパー 3 級養成課程開始
	在宅福祉サービス関連機関連絡会議開催
平成 7 年	社会福祉協力校「ボランティア推進校」指定
	ホームヘルパー 2 級養成課程開始（年 2 回）
	重度障害者ガイドヘルパー派遣事業開始
平成 8 年	障害者デイケア事業を市から受託（翌年度「所沢市立こあふる」となる。）
平成 9 年	障害者デイケア施設「所沢市立こあふる」開所、市条例制定
	ホームヘルパー西地区ステーション設置（「所沢市立こあふる」内）
	ハンディキャブ号（普通車ワゴンタイプ）貸出事業開始
	第 1 次地域福祉活動計画策定
平成 10 年	障害者就労支援事業を市から受託
	ホームヘルパー東地区ステーション設置（市保健センター内）
	在宅介護（福祉）支援係設置（調査・相談・介護用品等展示）
	ふれあい配食サービス調理拠点、保健センター内に増設
平成 12 年	福祉サービス利用援助事業開始
	指定居宅介護事業等の介護保険事業開始
	所沢市ファミリー・サポート・センター事業を所沢市から委託
平成 14 年	「所沢市立プロペラ」開所（市委託）
平成 19 年	第 2 次地域福祉活動計画策定
平成 20 年	障害者相談支援事業開始（市委託）
平成 22 年	災害ボランティアセンター訓練開始
平成 24 年	第 3 次地域福祉活動計画策定
	災害ボランティア育成開始
平成 26 年	法人後見事業開始
	生活困窮者自立相談モデル事業開始（市委託）
平成 27 年	第 4 次地域福祉活動計画策定
	コミュニティソーシャルワーカー（CSW）のモデル配置
平成 28 年	全行政区にコミュニティソーシャルワーカーを配置
	改正社会福祉法への対応
平成 29 年	所沢市こどもと福祉の未来館へ移転
	介護保険事業等の事業所移転

法人化 50 周年記念式典

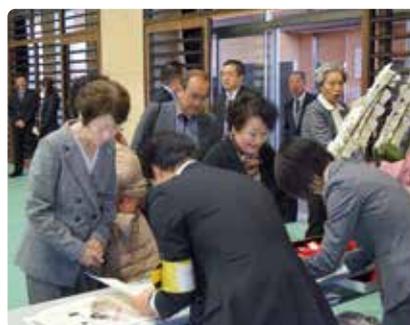
法人化 50 周年を記念し、支えてくださった皆様へ感謝の意を表するとともに、次の 50 年で所沢市社会福祉協議会がさらに発展し地域福祉を推進していくために、あらためて「社協」について理解を深め、今後の方向性を確認することを目的とし、平成 29 年 11 月 23 日（木・祝）に記念式典を開催しました。

I 次第

- 1 開式のことば
- 2 記念式典
 - (1) 主催者挨拶
社会福祉法人所沢市社会福祉協議会 会長 本橋栄三
 - (2) 来賓祝辞
所沢市長 藤本正人 様
所沢市議会 議長 杉田忠彦 様
社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 副会長 石川 稔 様
所沢市自治連合会 会長 安田敏男 様
所沢市民生委員・児童委員連合会 会長 橋爪 猛 様
 - (3) 50 年のあゆみの紹介
- 3 記念講演
「これからの地域福祉と社会福祉協議会の方向性」
講師 大橋 謙策 氏
- 4 所沢市社会福祉協議会事業の紹介とこれからのに向けて
- 5 閉式のことば



会場入口



受付の様子



会場の様子

II 出席者

- | | |
|-------------------|------|
| 1 登壇来賓 | 7 名 |
| 2 ご招待（関係機関、団体等の方） | 74 名 |
| 3 本会職員 | 79 名 |

III 実施内容

- 1 開式のことば
新井雪江副会長による開式のことばで式典が始まりました。



新井雪江副会長



本橋栄三会長

2 記念式典

(1) 主催者挨拶

本橋栄三会長から主催者を代表して挨拶がありました。

(2) 来賓祝辞

所沢市長 藤本正人 様、所沢市議会議長 杉田忠彦 様、社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 副会長 石川稔 様（上田清司会長ご祝辞代読）、所沢市自治連合会会長 安田敏男 様、所沢市民生委員・児童委員連合会会長 橋爪猛 様からご祝辞をいただきました。



所沢市長 藤本正人 様



所沢市議会 議長 杉田忠彦 様



社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 副会長 石川 稔 様



所沢市自治連合会 会長 安田敏男 様



所沢市民生委員・児童委員連合会 会長 橋爪 猛 様



式典の様子

(3) 社協のあゆみ

黛浩一郎事務局次長兼企画総務課長及び岡村淳子地域福祉担当参事が設立から現在に至るまでの歴史を報告するとともに、これまで支えていただいた皆様に対し、感謝のメッセージを伝えました。

「社協のあゆみ」発表の様子 ▶



3 記念講演「これからの地域福祉と社会福祉協議会の方向性」

大橋謙策氏（公益財団法人テクノエイド協会理事長、東北福祉大学大学院教授、日本社会事業大学名誉教授）から、地域福祉の歴史や現在の動向、全国の実践等を踏まえ、これからの地域福祉や社協のあり方、方向性等について講演をいただきました。



▲ 記念講演の様子

4 所沢市社会福祉協議会事業の紹介とこれからのに向けて

(1) 所沢市社会福祉協議会事業の紹介

社協の事業を6名の職員から紹介しました。

▼ 「事業の紹介」発表の様子



(2) これからのに向けて

5名の職員から、社協職員としてこれから大切にしたいことについて発表した後、社協事業の紹介発表者6名とともに会場の参加者に向けてメッセージを発表しました。



◀ 「これからのに向けて」発表の様子



5 閉式のことば

平川聖一常務理事による閉式のことばで式典が終了しました。



閉式のことば



閉式後、職員一同で参加者の皆様をお見送りしました。

6 色紙展示

「社協職員としてこれから大切にしたいことを表す一文字」を展示しました。



7 会場展示

「社協のあゆみ」「こども食堂」に関するパネルを展示しました。



IV 記念品

記念品としてエコバック、缶バッジ、お菓子を参加者にお渡ししました。



歴代役員名簿

■ 法人化当時の役員

理事 15 名、監事 2 名

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
理事	二上 佑五郎	理事	池田 眞快	理事	小沢 綾助
〃	斉藤 伝次郎	〃	森田 家介	〃	佐藤 徳三郎
〃	吉田 角三	〃	和田 とよ	〃	池田 達雄
〃	並木 所左工門	〃	藤宮 とみを	〃	
〃	小峰 栄太良	〃	沢田 利夫	監事	大館 真平
〃	粕谷 忠平	〃	斉藤 公平	〃	宮内 武一

■ 歴代社協正副会長一覧（昭和 43 年 3 月 27 日～）

※役員改選時等の選任状況（敬称略）

任期	会長		副会長			
	氏名	選出団体等	氏名	選出団体等	氏名	選出団体等
S43.3.27～	二上 佑五郎	議員経験者 保護司会	斉藤 伝次郎 (～S43.11.30) 池田 藤治郎 (S44.4.1～S57.3.31)	民児連	吉田 角三 (～S53.3.31) 田中正之 (S53.4.1～)	地区(支部)社協
S55.4.1～	〃	〃	田中正之	地区(支部)社協	池田 藤治郎	学識経験者
S57.4.1～	〃	〃	〃	〃	—	—
S59.4.1～	武藤 保之助	市長	〃	〃	鈴木 望夫	市福祉部
S61.4.1～	〃	〃	川口 重雄	地区(支部)社協	〃	〃
S62.11.27～	中井 眞一郎	市長	〃	〃	〃	〃
S63.4.1～	大館 寿衛吉	身障福祉会	〃	〃	越阪部四一郎	自治連合会
H2.4.1～	〃	〃	〃	〃	〃	〃
H4.4.1～	〃	〃	〃	〃	〃	〃
H6.4.1～	越阪部四一郎	学識経験者	加藤 千ヨノ	学識経験者	桑原 忠好	福祉施設分野代表
H8.4.1～	〃	〃	〃	〃	〃	〃
H10.4.1～	〃	〃	〃	〃	〃	〃
H12.4.1～	〃	〃	町田 鶴彦	自治連合会	肥田 埜 孝	学識経験者
H14.4.1～	肥田 埜 孝	学識経験者	〃	〃	三上 茂	民児連
H16.4.1～	〃	〃	〃	〃	〃	〃
H18.4.1～	〃	〃	小林 晟	学識経験者	新井 雪江	婦人会
H20.4.1～	〃	〃	〃	〃	〃	〃
H22.4.1～	〃	〃	小桧山 正幸	学識経験者	〃	〃
H24.4.1～	〃	〃	高麗 潔	学識経験者	〃	〃
H24.10.25～	〃	〃	新井 雪江	婦人会	—	—
H25.8.1～	本橋 栄三	学識経験者	〃	社会福祉活動協賛者	—	—
H26.4.1～	〃	〃	〃	〃	梅田 実	学識経験者
H28.4.1～	〃	〃	〃	〃	秋葉 義男 (～28.7.6)	民児連
H29.6.15～	〃	〃	〃	〃	橋爪 猛	民児連

■ 歴代社協常務理事一覧（昭和43年3月27日～）

※役員改選時等の選任状況（敬称略）

任 期	氏 名	選出団体等
S43. 4. 1 ~	池田 眞 快	市部長職
—	新井 民 雄	市福祉事務所長職
—	岡本 要 作	市福祉事務所長職
S48. 8.20 ~	池田 達 雄	民間人
S53. 4. 1 ~	粕谷 忠 平	市助役経験者
S61. 4. 1 ~	鈴木 望 夫	市部長経験者
H3. 4. 1 ~	市川 義 一	市福祉部次長（派遣→退職後専任）
H9. 4. 1 ~	栗原 功 道	市福祉部次長（派遣）
H10. 4. 1 ~	小林 晟	市部長経験者
H15. 4. 1 ~	岩 淵 淑 子	市部長経験者
H18. 4. 1 ~	小 檜 山 正 幸	市部長経験者
H21. 4. 1 ~	高 麗 潔	市部長経験者
H24. 4. 1 ~	梅 田 実	市部長経験者
H26. 4. 1 ~	平 川 聖 一	市部長経験者

■ 歴代監事一覧（昭和43年3月27日～）

※役員改選時等の選任状況

任 期	氏 名	選出団体等	氏 名	選出団体等
S43.3.27 ~	大 館 眞 平	民児連	宮 内 武 一 (~ S46.10.24)	民児連
S47.3.31	三 上 五 郎 (~ 48.2.2)	〃	—	—
S48.4.23	加 藤 正 次	〃	—	—
S53.4.1	〃	〃	島 崎 広 司	民児連
S55.4.1 ~	稲 福 政 次	自治・町内会	加 藤 正 次	民児連
S57.4.1 ~	〃	〃	金 子 尚 夫	自治・町内会
S59.4.1 ~	〃	〃	〃	学識経験者
S61.4.1 ~	〃	〃	斎 藤 武 司	学識経験者（公認会計士）
S63.4.1 ~	〃	自治・町内会、社協支部	〃	〃
H2.4.1 ~	〃	〃	〃	〃
H4.4.1 ~	湯 本 昭 男 (~ H5.6.30)	学識経験者	〃	〃
H6.4.1 ~	高 山 幸 雄	民児連	〃	〃
H8.4.1 ~	〃	〃	〃	〃
H10.4.1 ~	〃	〃	〃	〃
H12.4.1 ~	〃	〃	〃	〃
H14.4.1 ~	〃	〃	〃	〃
H16.4.1 ~	〃	〃	〃	〃
H18.4.1 ~	〃	〃	阿 部 武 志	学識経験者（税理士）
H20.4.1 ~	尾 澤 祥 光	民児連	〃	〃
H22.4.1 ~	二 村 兼 弘	民児連	〃	〃
H24.4.1 ~	橋 爪 猛	民児連	〃	〃
H26.4.1 ~	海 野 一 興	民児連	〃	〃
H28.4.1 ~	〃	〃	〃	〃
H29.2.1 ~	清 川 昭	民児連	〃	〃
H29.6.15 ~	〃（~ H29.10.31）	〃	瀧 島 正 男	税理士
H29.11.15 ~	石 井 福 雄	民児連	〃	〃

現在の評議員・役員名簿

評議員名簿

平成 30 年 3 月現在

氏名	選出区分	選出団体
渡 邊 多 一	地域の代表者	富岡自治連合会
福 良 幹 夫	地域の代表者	小手指区長会
神 藤 年 三	地域の代表者	山口地区自治連合会
溝 口 弘	地域の代表者	吾妻町内会連絡協議会
中 里 市 三	地域の代表者	柳瀬地区自治連合会
横 溝 哲 夫	地域の代表者	三ヶ島地区区長会
増 田 清	地域の代表者	新所沢地区町会連合会
高 柳 進	地域の代表者	新所沢東部地区自治連合会
道 又 正 秀	地域の代表者	所沢地区町内会連合会
廣 川 隆 通	地域の代表者	並木自治連合会
赤 坂 悦	民生委員・児童委員の代表者	松井東地区民生委員・児童委員協議会
藤 野 邦 夫	民生委員・児童委員の代表者	富岡地区民生委員・児童委員協議会
本 木 昇	民生委員・児童委員の代表者	小手指第一地区民生委員・児童委員協議会
海 野 一 興	民生委員・児童委員の代表者	小手指第二地区民生委員・児童委員協議会
前 田 克 夫	民生委員・児童委員の代表者	山口地区民生委員・児童委員協議会
高 田 美 智 子	民生委員・児童委員の代表者	吾妻地区民生委員・児童委員協議会
山 足 巖	民生委員・児童委員の代表者	柳瀬地区民生委員・児童委員協議会
小 原 共 子	民生委員・児童委員の代表者	三ヶ島第一地区民生委員・児童委員協議会
市 川 實	民生委員・児童委員の代表者	三ヶ島第二地区民生委員・児童委員協議会
松 宮 昌 美	民生委員・児童委員の代表者	新所沢東地区民生委員・児童委員協議会
小 林 ヒデ子	民生委員・児童委員の代表者	所沢地区民生委員・児童委員協議会
山 口 美 紗 子	民生委員・児童委員の代表者	並木地区民生委員・児童委員協議会
新 井 誠	社会福祉事業を営む法人等の役職員	社会福祉法人皆成会
稲 川 清	社会福祉事業を営む法人等の役職員	特定非営利活動法人エヌピーオーいずみ
熊 谷 スミエ	社会福祉事業を営む法人等の役職員	社会福祉法人所沢しいのき会
岩 岡 民 枝	ボランティア活動を行う団体の代表者	所沢市赤十字奉仕団
青 木 照 子	社会福祉団体の代表者	所沢地区更生保護女性会
吉 田 隆	社会福祉団体の代表者	所沢市遺族連合会
増 田 利 雄	社会福祉団体の代表者	障害児者を守る所沢連絡会
喜 多 濃 定 人	社会福祉団体の代表者	所沢市私立保育園協会
北 田 裕 司	関連機関の代表者	所沢市福祉部

理事及び監事名簿

平成 30 年 3 月現在

役職	氏 名	選出団体、所属等
会長	本 橋 栄 三	知識経験者
副会長	新 井 雪 江	知識経験者
〃	橋 爪 猛	所沢市民生委員・児童委員連合会
常務理事	平 川 聖 一	知識経験者
理事	内 田 徹	所沢市民間高齢者福祉連絡協議会
〃	鈴 木 喜 代 子	所沢市社会福祉協議会（所沢市立かしの木学園）
〃	柴 井 せ ん	所沢市ボランティア連絡協議会
〃	安 田 敏 男	所沢市自治連合会
〃	坂 下 幸 雄	所沢市長生クラブ連合会
〃	田 中 保 三	所沢地区保護司会所沢三芳支部
〃	植 村 里 美	所沢市役所福祉部
〃	高 麗 潔	知識経験者
〃	近 喰 晴 子	秋草学園短期大学
〃	田 中 英 樹	早稲田大学
〃	原 紘 一	行政書士
監事	瀧 島 正 男	税理士
〃	石 井 福 雄	所沢市民生委員・児童委員連合会

所沢市社会福祉協議会の組織 (平成30年3月現在)

会員 (市民・団体・企業)

評議員会 (議決機関)

理事会 (業務執行機関)

監事会

事務局

事務局長

事務局次長

地域福祉担当参事

地域福祉推進課
 ○地域福祉活動推進 (CSW) ○社会福祉協議会会員 ○ボランティアセンター ○共同募金
 ○認知症サポーター養成事業 ○車いす短期貸出事業 ○生活支援コーディネーター業務
 ○所沢地域包括支援センター ○所沢市ファミリー・サポート・センター ○福祉団体事務局

企画総務課 ○企画総務 ○経理 ○収益事業
介護サービス担当
 ○居宅介護支援事業所 ○訪問介護・介護予防訪問介護事業所・指定居宅訪問介護事業所
 ○認定調査グループ

相談支援課 (福祉の相談窓口)
 ○福祉サービス利用援助事業 ○成年後見事業 ○コミュニケーション支援事業
 ○就労支援事業 ○障がい者相談支援事業 ○生活福祉資金貸付事業
 ○生活困窮者自立相談支援事業 ○家計相談支援事業

所沢市立かしの木学園 (児童発達支援事業)

所沢市立きぼうの園 (就労継続支援B型事業)

所沢市立こあふる (生活介護事業)

所沢市立プロペラ (生活介護事業)



地域福祉推進の主な取り組み

(平成 30 年 3 月現在)

コミュニティソーシャルワーカー (CSW) の配置

地域福祉活動計画に基づき平成 28 年 4 月 1 日から所沢市全地区（11 行政区）にコミュニティソーシャルワーカー (CSW) を配置しています。地域には困り事をいくつも抱え、一人では解決できずに SOS を出せないでいる人たちがいます。コミュニティソーシャルワーカーは地域の皆様との顔の見える関係を心がけ、生活課題の発見に努めます。また、地域とのつながりを大切にしながら課題の解決に向けて一緒に取り組みます。

これまで築いてきた地域のネットワークを個別支援に活かし、また個別支援の中から新たなネットワークをつくります。



地域福祉サポーター養成講座

市民の立場で地域福祉を進める人材（地域福祉サポーター）を広く育成することにより、所沢市における地域福祉の推進を図ります。



地域福祉サポーター勉強会



地域福祉サポーター全体会

生活困窮者自立支援事業の実施

平成 27 年 4 月から生活困窮者自立支援事業を所沢市から受託し、コミュニティソーシャルワーカー (CSW) と連携を図り、支援を継続して行っています。

- (1) 自立相談支援事業：生活に困窮している人が生活保護に陥る前の段階でなるべく早く自立できるように相談員が状況に応じた支援計画を作成します。
- (2) 家計相談支援事業：失業や債務問題などにより、経済的に不安を抱えている人に対し、家計相談支援員が家計を再建する為の支援を行います。

その他の関連事業

- (1) 地域の居場所づくり：こども食堂など、ご家庭の事情により一人で食事をとる事が多い子どもたちに「あたたかいごはん」「楽しい団らんの時間」をつくり、人と人とのつながりの大切さを経験できる様に地域の方の協力をいただきながら進めています。
- (2) フードドライブ：「今日食べる物が無い」、「昨日から何も食べていない」といった人たちへの支援として実施しています。

所沢市社会福祉協議会地域福祉活動のシンボルマーク

平成 17 年にシンボルマーク及びキャッチフレーズ“GO! DASH!”を、所沢社協が推進する住民主体の地域福祉活動を象徴するものとして決めました。全国的に使用されている社協のシンボルマークから着想を得てデザインしたものです。平成 21 年度からは、市民公募でこのシンボルマークをモチーフにその年の干支をデザインしたものを社協会員の会員証等に使用しています。



所沢市社会福祉協議会の主な事業

(平成 30 年 3 月現在)

高齢の方への支援・・・

○わたしのまちの車いすちょい借りステーション

住民及び商店、企業、福祉施設との協働により、より身近に車いす貸出を行う地域の拠点として「わたしのまちの車いすステーション」を設置し、一時的に車いすが必要な方に無料で貸出を



車いすちょい借りステーション

を行います。また、一年の内で3か月以内に貸出を行う車いす短期貸出も行っています。

○福祉サービス利用援助事業（埼玉県社会福祉協議会委託事業）

物忘れのある高齢の方、知的障がい・精神障がいのある方などで判断能力が十分でない方に対し、福祉サービスを利用する際の支援や日常的な金銭管理、大切な書類（年金証書、不動産の権利証書など）の預かりなどの支援を行っています。（有料）

○所沢地域包括支援センター（所沢市委託事業）

所沢地区を対象に、在宅の暮らしや介護について不安を持つ高齢の方やその家族から、福祉サービスや介護保険に関する事などの様々な相談をお受けいたします。その他、地域ケア会議や介護予防教室を開催しています。また、介護予防支援（要支援1・2）

のサービスを利用する方のプランを作成します。

○生活支援コーディネーター業務（所沢市委託事業）

介護保険法改正に伴う生活支援体制整備事業で、「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続ける」ことができる地域づくりを進めます。市内全域に生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置、地域資源の情報を分かりやすく提供する事で地域の力と高齢者をつなぐ仕組みをつくりま

○生活改善支援事業

在宅で生活している高齢者や障がいのある方で、心身の状況により自分で部屋を片付けることが困難となり、衛生的で健康的な生活が難しくなっている世帯の相談・支援を行います。

○居宅介護支援事業所（介護保険事業）

介護保険サービスを利用する場合、ケアプランの作成が必要です。介護支援専門員が相談・作成・サービスの利用まで全面的にお手伝いします。

○訪問介護事業所（介護保険事業・障害福祉サービス事業）

介護保険法及び障害者総合支援法に基づく、訪問介護サービス（訪問介護・介護予防/居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護）の提供及び移動支援事業を行っています。

○成年後見事業（所沢市委託事業）

法人として、成年後見人等となり、皆様の暮らしを支える「法人後見」を行っています。そのほか、電話や窓口で、成年後見制度に関する相談をお受けします。

障がいのある方への支援・・・

○コミュニケーション支援事業（所沢市委託事業）

手話通訳者や要約筆記者の派遣及び手話、要約筆記、点訳や音訳の講習会を開催しています。

○就労支援事業（所沢市委託事業）

障がいのある方が生きがいをもって自立した生活を送れるよう、就労の相談・調整などの支援を行っています。

○基幹相談支援事業（所沢市委託事業）

地域における相談支援の中核的な役割を担い、障がいの種別や各種のニーズに対応できる総合的・専門的な相談窓口です。地域の相談支援のスキル向上や人材育成も併せて行っています。

○障がい者相談支援事業（所沢市委託事業）

障がいに関する相談窓口として自立した生活に向けて様々な支援を行います。

○所沢市立かしの木学園（所沢市指定管理）

児童発達支援事業所を運営し、就学前の障がいのある0歳から6歳の児童を対象に日常生活における基本動作の訓練や集団生活への適応訓練・家庭療

育の相談支援などを行っています。

○所沢市立きぼうの園（所沢市指定管理）

就労継続支援B型事業所を運営し、作業活動や余暇活動などを通じて知的障がいのある方などの社会参加への支援を行っています。

○所沢市立こあふる（所沢市指定管理）

生活介護事業所を運営し、作業活動や余暇活動、必要な生活面の介助などを通じて知的障がいのある方などの社会参加への支援を行っています。

○所沢市立プロペラ（所沢市指定管理）

生活介護事業所を運営し、作業活動や余暇活動、必要な生活面の介助などを通じて知的障がいのある方などの社会参加への支援を行っています。

○わたしのまちの車いすちょい借りステーション

○福祉サービス利用援助事業

○成年後見事業

○生活改善支援事業

○介護者リフレッシュ事業



所沢市立かしの木学園



所沢市立きぼうの園



所沢市立こあふる



所沢市立プロペラ

子育て中の方への支援・・・

○所沢市ファミリー・サポート・センター（所沢市委託事業）

小学校卒業までのお子さんの子育ての援助を受けたい方（利用会員）に、子育ての援助を行いたい方

（援助会員）を紹介しています。あらかじめ会員登録（無料）が必要です。利用会員及び援助会員の交流会や「ふあみさぼ通信」の発行等広報活動も実施しています。



交流会の様子



援助会員養成講習会の様子

低所得の方への支援・・・

○生活福祉資金貸付事業（埼玉県社会福祉協議会委託事業）

資金の貸付を受けようとする低所得世帯や障がい者・高齢者世帯に対して、相談・支援を行い、資金の貸付を受けた人（借受人）に対する支援、償還に関する相談等を行います。実施にあたっては、埼玉県社会福祉協議会や生活困窮者自立相談支援事業等の関係機関と連携し、家計相談支援事業のサポート等を含め、借受人の自立に向けた効果的な支援を行います。

○生活困窮者自立相談支援事業（所沢市委託事業）

生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困り生活に支障が出たり、引きこもりや地域から孤立した

り、どこに相談すればよいか分からない方々の相談をお受けします。共に考え相談員が伴走しながら自立をめざす事業です。

○家計相談支援事業（所沢市委託事業）

失業や債務問題などにより、経済的に不安を抱えている人に対し、家計相談支援員が家計を再建するための支援を行います。生活に困窮している人が生活保護に陥る前に、自立できるように相談員が状況に応じた支援計画を作成します。

○緊急援護事業

他の制度等では生活費や食料品の調達が困難な場合に相談をお受けする事業です。

ボランティア・住民福祉活動への支援・・・

○ボランティアセンター

ボランティア活動の推進を図るため、ボランティアに関する情報提供や相談・調整、人材育成、ボランティア活動への助成、ボランティア保険の手続き、学校等におけるふくし学習の支援を行っています。

その他、地域の行事等で活用できる綿あめ機やポップコーン機等の器材の一般貸出を行っています。

○災害ボランティア

所沢市で大きな災害が発生した際は、「所沢市地域防災計画」において、所沢市と協力し、所沢市社

会福祉協議会が「災害ボランティアセンター」を設置することが位置づけられており、「所沢市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」に基づき、対応します。平時は、ボランティア育成や訓練などに取り組みます。

○**地域福祉活動計画 in 所沢 ところ WITH プラン**
計画に基づき、地域住民や様々な機関・団体と連携・協働しながら地域福祉活動を推進しています。



災害ボランティアセンター実地訓練の様子



災害ボランティアセンター立上げ訓練の様子



住民懇談会の様子



広報・啓発活動・・・

○所沢社協ホームページ

所沢社協の取り組み、市内の福祉情報を掲載しています。<http://www.toko-shakyo.or.jp/>

○所沢社協だより「ちゃお!」の発行

所沢社協の取り組み、市内の福祉情報を掲載しています。(年6回発行・行政回覧及び公民館等に配架)

○ボランティア通信の発行

ボランティア活動に関する情報を掲載しています。(年6回発行・公民館などに配架)

その他の事業・・・

○所沢市社会福祉大会の開催

社会福祉の発展に寄与され方々の表彰を所沢市と共催して行っています。

○社会福祉協議会会員の募集

市民を中心に会員を募り、いただいた会費により所沢社協が行っている福祉活動及び地域の福祉活動の応援をしていただいています。(住民会員・福祉会員・賛助会員・特別賛助会員)

○各種寄付の推進

所沢社協への金銭、物品、所沢市愛の福祉基金、所沢市子ども未来基金への寄付の受入れを行っています。

○共同募金運動の推進

埼玉県共同募金会所沢市支会として共同募金運動(赤い羽根募金、地域歳末たすけあい募金)の推進を行っています。



共同募金運動の推進「役職員による街頭募金活動」

○彩の国あんしんセーフティネット事業

埼玉県社会福祉協議会が設置する埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会が実施主体となり、経済的にお困りの方に対して、市内の会員社会福祉法人と連携して支援を行います。

○福祉団体の支援

- ・所沢市民生委員・児童委員連合会事務局
- ・所沢市長生クラブ連合会事務局
- ・所沢地区保護司会所沢三芳支部事務局
- ・所沢地区更生保護女性会事務局

- ・所沢市遺族連合会事務局
- ・所沢市母子寡婦福祉会事務局
- ・所沢市身体障害者福祉会事務局
- ・所沢市赤十字奉仕団事務局
- ・所沢市民間高齢者福祉連絡協議会事務局



ボランティア通信

社協職員として 大切にしたいことを漢字一文字で

法人化 50 周年にあたり、職員一人一人が色紙に「社協職員として大切にしたいこと」を漢字一文字で表しました。これらの色紙は法人化 50 周年記念式典会場において展示しました。



社協職員として大切にしたいことを漢字一文字で

健	信	忍
時	支	思
義	悠	実
線	朗	繋

心	歩	知
平	聴	総
和	活	巧
信	縁	輝

和	新	安
真	紡	智
繋	敬	歩
共	聴	繋

心	縁	生
繋	輝	縁
所	安	心
歩	笑	気

百	結	和
川	笑	想
学	歩	笑
海	援	和

心 2017年10月10日 佐野勲	覽 2017年10月10日 佐野勲	恪 2017年10月10日 佐野勲
感 2017年10月10日 佐野勲	古 2017年10月10日 佐野勲	勤 2017年10月10日 佐野勲
健 2017年10月10日 佐野勲	考 2017年10月10日 佐野勲	精 2017年10月10日 佐野勲
閑 2017年10月10日 佐野勲	新 2017年10月10日 佐野勲	勵 2017年10月10日 佐野勲

步 2017年10月10日 佐野勲	信 2017年10月10日 佐野勲	思 2017年10月10日 佐野勲
考 2017年10月10日 佐野勲	笑 2017年10月10日 佐野勲	繫 2017年10月10日 佐野勲
聽 2017年10月10日 佐野勲	交 2017年10月10日 佐野勲	絆 2017年10月10日 佐野勲
信 2017年10月10日 佐野勲	橋 2017年10月10日 佐野勲	結 2017年10月10日 佐野勲

地 2017年10月10日 佐野勲	和 2017年10月10日 佐野勲	担 2017年10月10日 佐野勲
信 2017年10月10日 佐野勲	思 2017年10月10日 佐野勲	感 2017年10月10日 佐野勲
深 2017年10月10日 佐野勲	繫 2017年10月10日 佐野勲	信 2017年10月10日 佐野勲
安 2017年10月10日 佐野勲	真 2017年10月10日 佐野勲	新 2017年10月10日 佐野勲

平 2017年10月10日 佐野勲	共 2017年10月10日 佐野勲	意 2017年10月10日 佐野勲
安 2017年10月10日 佐野勲	心 2017年10月10日 佐野勲	成 2017年10月10日 佐野勲
	誠 2017年10月10日 佐野勲	寬 2017年10月10日 佐野勲
	香 2017年10月10日 佐野勲	考 2017年10月10日 佐野勲

聽 2017年10月10日 佐野勲	動 2017年10月10日 佐野勲	紡 2017年10月10日 佐野勲
家 2017年10月10日 佐野勲	合 2017年10月10日 佐野勲	



つなげよう つながろう
新たな 50 年へ

社会福祉法人
所沢市社会福祉協議会

50! DASH!



社会福祉法人所沢市社会福祉協議会

〒359-1112 埼玉県所沢市泉町1861-1 所沢市こどもと福祉の未来館3階

TEL 04-2926-8202 FAX 04-2925-3419

<http://www.toko-shakyo.or.jp>